

平成30年度 クリーンエネルギー自動車のご案内

電気自動車 (BEV)

プラグインハイブリッド自動車 (PHEV)

燃料電池自動車 (FCEV)

クリーンディーゼル自動車 (CDV)



C l e a n E n e r g y V e h i c l e

クリーンエネルギー自動車 (CEV) は、こんな特長、こんな良いところがあります

 クリーンエネルギー自動車のことを CEV (Clean Energy Vehicle) とも呼びます。

当パンフレットにおける『クリーンエネルギー自動車』とは、経済産業省の「クリーンエネルギー自動車導入事業費補助金」事業において、補助金交付の対象となっている以下の自動車をいいます。

電気自動車 (BEV) **プラグインハイブリッド自動車 (PHEV)** **燃料電池自動車 (FCEV)** **クリーンディーゼル自動車 (CDV)**

電気自動車 BEV (Battery Electric Vehicle)

車両特性	<ul style="list-style-type: none"> ○ エンジンがないので、騒音・振動が少ない ○ モーター駆動による走行のため、発進は力強く加速もスムーズ ○ 航続距離【一充電走行距離 (JC08モード)】 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 日産リーフ : 400km (40kWh) ▶ 三菱 i-MiEV : 164km (16kWh) ※ JC08モードは定められた試験条件での値。使用環境や運転方法に応じて航続可能距離は異なる。 ○ 充電時間は、急速充電器なら約30~45分で80%の充電が可能 ○ 停電時に家庭に電気を供給する機能等、電源としての利用が可能 ☆ 急速充電器の設置箇所は約7,300箇所まで増加 (2018年5月時点) [参考] 2010年4月時点: 193箇所 									
環境面	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気で走るので走行中はCO₂や有害ガスなどを含んだ排気ガスが出ない ○ エネルギー源の多様化に貢献 									
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ○ 車両本体価格も購入しやすい価格になってきている 【メーカー希望小売価格 (税抜) の比較】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>日産リーフ</th> <th>三菱 i-MiEV (16kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011年</td> <td>約359万円~約422万円 (24kWh)</td> <td>約379万円</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>約292万円~約373万円 (40kWh)</td> <td>約273万円</td> </tr> </tbody> </table> ※ 日産リーフの価格は最低価格グレードから最高価格グレードで表示 ○ 電気料金はガソリンに比べて安い 100km走行した場合、ガソリンに比べて約470円のコストメリットが期待できます。 ※ 2018年4月時点でサイトに公開されている代表的な電気自動車・燃料費の情報を元にNeVにて試算。 		日産リーフ	三菱 i-MiEV (16kWh)	2011年	約359万円~約422万円 (24kWh)	約379万円	2018年	約292万円~約373万円 (40kWh)	約273万円
	日産リーフ	三菱 i-MiEV (16kWh)								
2011年	約359万円~約422万円 (24kWh)	約379万円								
2018年	約292万円~約373万円 (40kWh)	約273万円								

プラグインハイブリッド自動車 PHEV (Plug-in Hybrid Electric Vehicle)

車両特性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部から充電できるハイブリッド自動車 (HEV) で、BEVモード、HEVモードでも走行できる 【電気だけの走行可能距離 (EV走行換算距離) (JC08モード)】 <ul style="list-style-type: none"> ▶ トヨタプリウス PHV: 68.2km ▶ 三菱アウトランダー PHEV: 65km ▶ ホンダ CLARITY PHEV: 114.6km
環境面	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部から充電した電力を上手に使いBEVモードでの走行を多くすることで、ガソリンの消費量を抑え、CO₂排出量を削減できる
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ○ 充電する電気の料金は安く、ガソリンの消費量も少なくなる分、燃料コストが安い



燃料電池自動車 FCEV (Fuel Cell Electric Vehicle)

車両特性	<ul style="list-style-type: none"> ○水素と酸素の化学反応によって作られる電気を使用してモーターで走行するので、音や振動が小さく、発進は力強く加速もスムーズ ○航続距離【一充填走行距離(JC08モード)】 <ul style="list-style-type: none"> ▶トヨタMIRAI:約650km ▶ホンダCLARITY FUEL CELL:約750km ※定められた試験条件での値。使用環境や運転方法に応じて航続可能距離は異なる。 ○充填時間は、約3分程度(トヨタMIRAI、ホンダCLARITY FUEL CELL) ○停電時に家庭に電気を供給する機能等、電源としての利用が可能 ☆水素ステーションも、4大都市圏を中心に、100箇所が開業(2018年8月現在)
環境面	<ul style="list-style-type: none"> ○走行中に排出するのは水素と酸素の化学反応で作られる水だけ ○エネルギー源の多様化に貢献
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ○車両価格は、同格のガソリン車と比べ2倍程度 ▶トヨタMIRAI:670万円(税抜) ▶ホンダCLARITY FUEL CELL:710.4万円(税抜)

クリーンディーゼル自動車 CDV (Clean Diesel Vehicle)

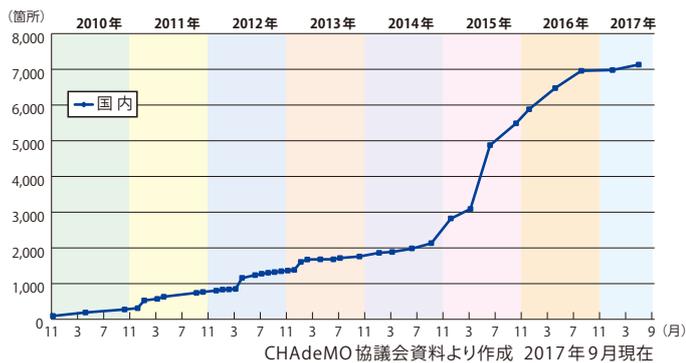
車両特性	<ul style="list-style-type: none"> ○同排気量のガソリン車に比べ強い加速を得られる ○エンジン音の静粛性も増している
環境面	<ul style="list-style-type: none"> ○ディーゼルエンジンはガソリンエンジンに比べて燃焼効率が高く、CO₂排出量を削減できる ○排気ガスに含まれるNO_xやススの浄化処理技術も進化し、その排出量も大幅に少なくなっている
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ○燃料となる軽油はガソリンに比べて安く、また燃費も同等性能のガソリン車より優れているため、燃料コストが安い

※車名を記して記載してある値は、各メーカーのカタログ等に記載されている値をそのまま使用

クリーンエネルギー自動車(乗用車)の国内販売台数の推移



電気自動車用急速充電器設置箇所数の推移



燃料電池自動車普及に向けた水素ステーションの整備

4大都市圏を中心に100箇所が開業

●水素ステーションの開業数

- 首都圏：40箇所
- 中京圏：25箇所
- 関西圏：12箇所
- 北部九州圏：11箇所
- その他：12箇所

※2018年8月現在
燃料電池自動車新規需要創出活動補助の
交付決定箇所数



補助金を受けて購入しやすく

クリーンエネルギー自動車 (CEV) の購入負担を軽減するため、公的資金を財源として購入費用の一部を補助します。

▶ 詳細はセンターのホームページをご覧ください

● 補助金額は、車種・グレードごとに「定額（千円単位）」です。

(参考) 補助金額算定方法

補助金額は、クリーンエネルギー自動車の区分ごとに定めた方法で算定します。但し、補助金額の範囲は、クリーンエネルギー自動車の区分ごとに定める上限額以内で、また、補助金額の算出結果が15千円未満となる車両には補助金交付はありません。

電気自動車

○ 補助金額は、一充電走行距離に応じて算定されます。

$$\text{補助金額} = \left(\text{一充電走行距離当りの補助単価 (1千円/km)} \times \text{一充電走行距離} \right) \times \text{補助率 1/1}$$

※ 補助率 1/1 とは 100% の補助の意味です。

プラグインハイブリッド自動車 (EV 走行換算距離が 30km 以上の車両に限ります)

○ 補助金額は、一律 200 千円です。

燃料電池自動車 クリーンディーゼル自動車

○ 補助金額は、クリーンエネルギー自動車の価格 (定価) と同種・同格のガソリン自動車の価格 (定価) 等との差額を基準に算定されます。

$$\text{補助金額} = \left(\text{A 車両本体価格} - \text{B 基準額} \right) \times \text{C 補助率}$$

A 車両本体価格	・ メーカー希望小売価格 (いわゆる定価) で、消費税抜きの価格。
B 基準額	・ 該当のクリーンエネルギー自動車と同種・同格のガソリン自動車 (ベース車両) の価格 ・ さらに、クリーンディーゼル自動車については、一定年数分の燃料代等のランニングコスト削減想定分を加えます。
C 補助率	・ 補助すべき比率を意味し、クリーンエネルギー自動車の区分ごとに以下の補助率となっています。 燃料電池自動車 (2/3) クリーンディーゼル自動車 (1/12)

● クリーンエネルギー自動車の種類ごとに定める上限額

クリーンエネルギー自動車の種類	補助金上限額	クリーンエネルギー自動車の種類	補助金上限額
○ 電気自動車	400 千円	○ 燃料電池自動車	上限なし
○ プラグインハイブリッド自動車	200 千円	○ クリーンディーゼル自動車	150 千円



補助金を受けるには

補助金交付申請書をセンターに提出していただきます。

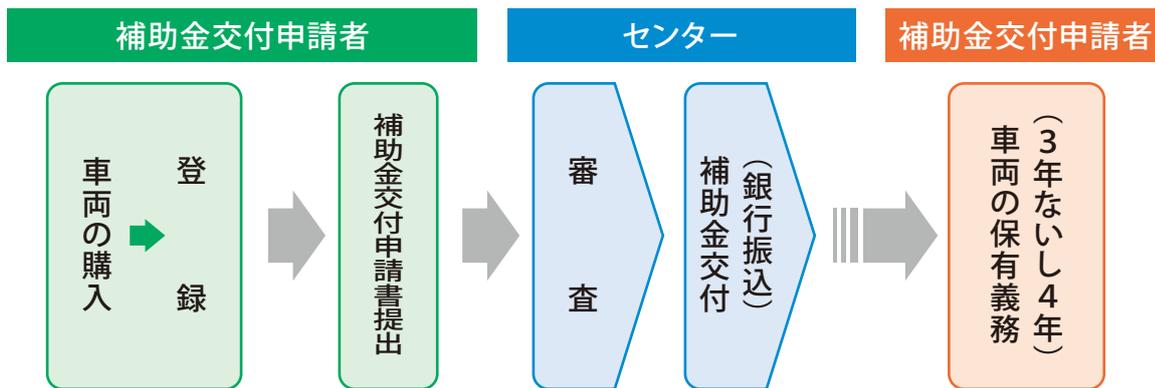
申請方法の詳細については、センターのホームページで確認いただくとともに、車両を購入された自動車販売会社等にご相談ください。

▶ 詳細はセンターのホームページをご覧ください

CEV

検索

● 補助金交付申請の流れ



● 平成30年度事業における補助金交付申請関係の期限

車両の登録 (軽自動車等は届出)	平成30年2月1日～平成31年2月22日までに登録した車両であること
補助金交付申請書の提出	平成31年3月4日までにセンターに提出すること(必着)

(注) 予算残額の状況によっては、募集期間を短縮することがあります。

(注) 補助金の交付は車両ごとに1回限りです。

● 車両の購入形態別の補助金交付申請者

購入形態	補助金交付申請者	購入形態	補助金交付申請者
①自動車販売会社から直接購入	車両購入者	③所有権留保付ローンで購入	車両購入者
②リースにして購入	リース会社		

(注) 車両購入者になれるのは、個人、地方公共団体、企業等の法人です。

補助金を受けたら

● 補助金を受けた車両は、定められた期間(3年ないし4年)は保有することが義務付けられます。

● 定められた期間内にやむを得ず、売却等の処分をする場合は、処分前にセンターに届出が必要です。また、補助金の一部返納が発生します。

(注) センターでは、補助金を交付した車両の保有状況を定期的に調査しています。

センターに届出せずに、処分したことが判明した場合は、補助金の全額返納を求められることがあります。

▶各車両のグレードごとの補助金額等の詳細はセンターのホームページをご覧ください。

また、各車両の諸元等の詳細はメーカーにお尋ねください。

(注)一部掲載していない車両もあります

普通自動車・小型自動車		軽自動車
フォルクスワーゲン e-Golf	三菱自動車 i-MiEV	三菱自動車
ZAA-AUEAZ 301	ZAA-HD4W 164	ミニキャブ・ミーブ ZAB-U68V 150(16kWh)
約6(6kW充電)・約12(3kW充電)	約7	約7
約35	約30	約35
4,620,370	2,730,000	1,991,000
301	164	150
		

※1 定められた試験条件の値
 ※2 NEDC:新欧州ドライビングサイクル
 ※3 テスラスーパーチャージャーにおける測定値(50%充電)

普通自動車・小型自動車					
ビー・エム・ダブリュー BMW X5 xDrive40e iPerformance CLA-KT20	ビー・エム・ダブリュー BMW i3(レンジ・エクステンダー・装備車) DLA-1Z06	ビー・エム・ダブリュー BMW i8 クーペ CLA-2Z15U	ビー・エム・ダブリュー MINI Cooper S E Crossover ALL4 CLA-YU15	フォルクスワーゲン Golf GTE DLA-AUCUK	フォルクスワーゲン Passat GTE DLA-3CCUK
30.8	288.9	54.8	42.4	45.0	53.3
約4.0	12~13	約4.0	約3.0	3強	約4
(非対応)	45	(非対応)	(非対応)	(非対応)	(非対応)
9,185,185	5,435,185	19,379,630	4,611,111	4,342,593	4,897,222
200	200	200	200	200	200
					

普通自動車・小型自動車		
本田技研工業 CLARITY PHEV 6LA-ZC5	三菱自動車 アウトランダー PHEV 5LA-GG3W	メルセデス・ベンツ GLC 350 e 4MATIC Sports DLA-253954
114.6	65.0	30.1
約6	約4.0	4
約30	約25	(非対応)
5,445,000	4,148,000	8,222,223
200	200	200
		

※1 定められた試験条件の値

普通自動車・小型自動車			
マツダ アテンザ セダン 3DA-GJ2FP 17.8(WLTC ^{※6}) 3,660,000 17	マツダ CX-3 3DA-DK8FW 20.0(WLTC ^{※6}) 2,626,000 15	マツダ CX-8 3DA-KG2P 17.6 3,665,000 42	三菱自動車 パジェロ LDA-V98W 10.4 3,965,000 17
			

※ワゴンもあり

※6 WLTC:国際調和排出ガス・燃費試験サイクル

当補助事業（クリーンエネルギー自動車導入事業費補助金）は、クリーンエネルギー自動車の購入負担を軽減するため、公的資金を財源として購入費用の一部を助成するものです。これによってクリーンエネルギー自動車の普及を促進し、CO₂の排出抑制や石油依存度の低減を図ることを目的としています。一般社団法人次世代自動車振興センターは、国から補助事業者としての採択を受け、当補助事業を実施しています。

用語について

本パンフレットでは、固有名に使用している場合を除いて、以下のとおり表記を統一する。

- BEV > Battery Electric Vehicle の略
- HEV > Hybrid Electric Vehicle の略
- PHEV > Plug-in Hybrid Electric Vehicle の略
- FCEV > Fuel Cell Electric Vehicle の略



C l e a n E n e r g y V e h i c l e

お問い合わせ先・資料請求先

一般社団法人 次世代自動車振興センター
次世代自動車部

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目16番3号
日本橋木村ビル9階

TEL：03-3548-3231 / FAX：03-3548-3232

TEL 受付時間：9:00～12:00 / 13:00～17:00

（土日・祝祭日・年末年始を除く）

URL: <http://www.cev-pc.or.jp>